

自動運転車での活用見込む

リープマインド
小さな回路で深層学習

松田社長

《会社概要》

▽創業年	2012年
▽代表者	松田総一氏
▽従業員数	50人

リープマインド（東京・渋谷）はディープラーニング（深層学習）を「どこでも」活用できる技術を開発するスタートアップだ。深層学習のアルゴリズムを簡単な回路に落とし込み、小型化。大きな計算装置を置けない自動運転車などでの活用を見込む。

つながらる「D・O・T」という概念を推し進めている。松田総一社長は「エッジ（端末側）で機械の挙動を制御する。クラウドと通信する時間はない」とD・O・Tの重要性を語る。

深層学習のアルゴリズムをFPGAと呼ぶ半導体デバイスに落とし込む。そのため難解なアルゴリズムを「美しく単純な数式」（松田社長）に書き換える必要がある。

通常、深層学習はパソコンと呼ぶプログラミング言語を使う。これを同社の独自のプラットフォーム「ジュイス」を活用すると、短時間で簡単な数式に変換できる。

簡単な数式の計算であれば、画像処理半導体（GPU）のような大きな装置は必要なく、端末側に搭載が容易になる。松田社長は「組み込み用の標準にしたい」と意気込みを語る。

許諾番号 30050647 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

©日本経済新聞社 無断複製転載を禁じます。

日本経済新聞社は、記事内容により、特定の企業・団体や商品・サービスの購入・投資等を推奨するものではありません。



【PR・広報に関するお問合せ先】

MAIL : pr@leapmind.io

TEL : 03-5778-9948 (代表)

<http://leapmind.io/>